

平成20年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	元気なお年寄りボランティアによる共助のしくみ構築とはりあいのある地域づくり
対象地域	岐阜県山県市富波地区(北部の青波地区と富永地区を合わせた圏域)
活動概要	<p>● テーマ 中山間地域のお年寄りの「生活の質的転換」を推進するための住民参加型生活支援の創生 ～元気な高齢者が多い富波地区におけるやりがいのある暮らしとはりあいのある地域づくり～</p> <p>● 地域の課題 山県市は、3町村が合併したまちである。岐阜市に隣接した南部に人口が偏在しており、北部はクリーン農業や森林資源活用を推進してきた山間・過疎地域である。市人口は減少に転じており、老年人口が増加(約4人に1人)、年少人口が低下している。また、南部は自治会非加入者の増加など、近隣住民との関係が希薄化しているが、北部は近隣住民同士の関係が密接という特長がある。一方、介護保険認定率は12.4%であり全国平均より低い。これは、山県市が当会に委託して、市内公民館17ヶ所で行っている高齢者とじこもり予防事業(いこいの広場)の実績でもあるが、サービスを「する・される」関係の固定化やニーズの多様化などの問題も浮上しつつある。 つまり、北部地域の持続可能性に取り組む必要がある一方、高齢者の多くは介護を必要とせず、在宅で暮らす元気なお年寄りであり、その活力や絆を活かせる素地と潜在力が確認できる。</p> <p>● モデル事業で達成・実現したいこと ・ 富波地区の元気なお年寄り住民が、能力や特技(手仕事技能、昔ながらの知恵や食、生活能力等)を活かし、サービスの「受け手」という立場だけでなく「担い手」になってもらうべく、応募団体がコーディネーターとなり、ボランティアを組織化し、やりがいのある暮らしづくりを目指す。 ・ 富波地区の地域資源(食材、農地、自然、継承文化等)を発掘することにより、応募団体の事業の一つである配食サービス事業との関連づけを明確にした地産地消の商品開発や、都市部へフィールドを提供することによって広域の地域交流を深めるグリーンツーリズムの創出を行うことにより、はりあいのある地域づくりを目指す。 ※道筋として、調査を通じて掘り起こした資源を整理し、組み立て、多様な主体者を交えて試行実験を行っていくなかで、各種の連携・協働関係の確立を見極め、継続的な自主事業へと育てていく。</p>
今年度の主な取組	<p>○調査・研究(地域ニーズや課題の把握・整理、活動方策の検討) ・ 地域資源の発掘・再発見調査(グループインタビュー、アンケート等) ・ 栄養・調理従事者指導者への食事の提供体制に関するヒアリング調査 ・ 嗜好および残菜調査(定期観測) ・ 他事例の視察ヒアリング調査(夢未来くんま等)</p> <p>○多様な主体によるネットワークづくり(合意形成、スタッフ育成・研修) ・ 多様な関係者とのネットワーク会議の開催(山県市保健福祉部、山県市社会福祉協議会、富波地区自治会、JAぎふ、食生活改善連絡協議会などとの定期協議) ・ 外部からのアドバイザー招聘によるコーディネータースタッフの育成研修(応募団体の中核メンバーとアドバイザーによる定期会議の開催)</p> <p>○試行実験(社会実験的な具体的活動の実践) ・ 高齢者とじこもり予防事業(市:いこいの広場、市社協:ふれあいサロン等)の場での、本事業の取り組みへの参加呼びかけ、献立提供による効果測定、講座開催 ・ ボランティアスタッフ養成と冊子作成のためのコンテンツ整理蓄積を目的とした各種講座開催(地域づくり等の考え方、男の料理、畑づくり・自家菜園、わら細工、味噌仕込み、蒟蒻づくり等々)</p> <p>○ボランティアスタッフ養成のための手引書づくり(成果報告書の作成) ・ 嚙下障害をもつ高齢者に適した食事の献立表と食事内容(写真)を添付した冊子 ・ 地域の伝統食や郷土料理、保存食、行事食のレシピおよび生活文化をまとめた冊子 ・ 地元地域の資源(植物や生き物等自然環境、伝承文化など)をまとめた冊子</p>

活動結果	<p>○「蒟蒻づくり体験講座」から「手造り味噌講座」まで順調に遂行されたことが第一の成果である。</p> <p>これらは、多様な主体の協力や援助があって成り立ったことである。山県市保健福祉部、食事改善連絡協議会、およびJAぎふの支援が大きい。</p> <p>また、コーディネーター制を作り、コーディネーターの人脈により、講座参加者が集まったり、講師を招聘できたりしたことなど、多様な成果に繋がった。</p> <p>○コーディネーターの勧誘で地元の元気なお年寄りが4名賛同され、彼ら畑づくりボランティアが中心となって「畑づくり講座」が開始できた。</p> <p>この里芋づくりボランティアから作付け畑を無償で貸与されたことも大きな成果である。</p> <p>○「蒟蒻作り体験講座」に参加した3名(青波地区)の蒟蒻生産者が、本事業に賛同され、蒟蒻芋の栽培や蒟蒻の商品化への協力を得られることとなった。里芋作りと同じような行程をたどり蒟蒻栽培に発展して行く可能性が出てきた。</p>
当初予想していなかった効果	<p>山県市保健福祉部健康課が育成している(運動)(食)(心)の活動「元気もり森くらぶ」が今後山県市の事業から自主的な活動に移行するに当たって、特に(食・元気もり森食べよう)の活動は本事業の展開にあわせ共同で活動していく可能性、さらには、市との協議のうえ、本事業と同じような事業は本事業に一本化していく方向性を見出した。</p>
実施状況(写真)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲いも煮会 参加の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲地元のヘルスマイトさんと和気あいあいタコをきざみます</p> </div> </div>
応募団体名	特定非営利活動法人 どんぐり会
リンク	http://npo-dongurikai.com/
部局/担当者名	副理事長(事務局長)宮川 佳子
連絡先	(0581)52-2512 donguri@ccy.ne.jp
推薦市町村名	岐阜県山県市